

第5回士別市立病院のあり方検討市民委員会 議事録

1. 開催日時 令和7年9月11日（木）18時00分～18時45分

2. 開催場所 士別市立病院 2階会議室

3. 出席者 委員：7名（欠席3名）

事務局他：副院長、他6名

4. 傍聴者 0名（報道4社）

5. 会議内容 開会

（1）事務連絡

（2）議題

①士別市立病院の将来のあり方に関する検討について

・これまでの委員会の内容整理

・答申について

（3）その他

閉会

※配布資料

士別市立病院の将来のあり方に関する検討資料

答申（案）

6. 会議要旨

【事務連絡】

- ・この間の病院再整備に関する報告（議会特別委員会の開催など）
- ・「病院かわら版第4号」の発行

【議題① 士別市立病院の将来のあり方に関する検討について】

- ・これまでの委員会の内容整理について、事務局から資料に基づき説明。
- ・答申（案）について、事務局から資料に基づき内容を読み上げ説明。

委員

建て替え前提の答申か。

事務局

当市にとって、どのような病院が必要かについて、広く意見をいただくための市民委員会であり、建て替え前提で進めているわけではない。

委員

いつかは、建て替えについて考えないといけない時期が来る。その判断はいつか。

事務局

病院を建替えるかどうかについては、今年度中に方針を決めたい。答申をいただいた後に、具体的にいつ着手するのか、どういう方針で進めるかについては、今後議論の場が市議会の特別委員会に移る。

答申（案）にもあるとおり、健全な経営と示されている。当院としても、継続的に医療をしていくためには建て替えが一番望ましいと思うが、今の経営状況でどれくらいの投資が妥当なのか、経営改善や病床機能、将来的な見通しについて、しっかり議論していきたい。

委員

答申（案）では機能継続が多い中、婦人科から産婦人科へと強化が求められている。効率的な経営について、具体的な考えはあるのか。

事務局

産婦人科については、医師がいないと対応が難しいものであり、実際に確保できる確固たるものはないが、市民の意見として尊重したい。当院の婦人科医が今年度で退職するが、医師派遣によって体制を確保したいと考えており、これまで以上に幅広い専門性を持った診療ができるものと期待している。

効率的な経営について、この圏域で、病院単独で全てをまかなうのは無理であり、まだまだ機能分化について改善の余地があると考えます。

委員

財政難の中、ほかの事業との兼ね合いについても考えてほしい。

事務局

この地域の病院機能の維持についてどのように達成していくか、今までにない建築費の高騰や、公立病院の9割が赤字であるという状況の中、国の政策など全体を見据えた中で考えていきたい。

委員

士別市立病院がなくてはならないと改めて思うことができた。医師の確保については大きな課題であり、良い医師がいれば患者増につながるかもしれない。

委員

答申（案）は、現状の診療機能の維持、ホスピタリティの向上に触れられて、安心できる内容となっている。

委員

市民委員会の答申としては良いと思う。しっかり委員の意見が取り入れられている。

委員

病院を建て替えなければならない場合、今の財政状況では難しいと思う。国の補助金活用についてしっかり模索すべきである。公立病院の9割が赤字といわれている中、一自治体だけでは解決できないと考える。市民の力、地域力を発揮した国への要望はできないか。

⇒正副委員長確認のもと、答申に文言追加する。（委員了承）